

支援プログラムの公表

1. 事業所名 Racesa 厚木三田教室

2. 作成年月日 令和6年12月16日

3. 法人（事業所）理念

①児童の将来を見据え、一人ひとりの段階に応じた適切な療育を行う

②一人ひとりの児童の適性を捉え、長所や個性を活かし、その開花の助けとなるよう、必要な能力の育成を図る

③発達障害を抱える人材達が活躍できる社会の実現に向け、広報活動などを行う

4. 支援方針

Racesa は、発達障害を「遅れている」とは考えず、「特別な視点・道」を持っている・歩んでいる子供達だと捉え、「一人一人の一步先」を支援します。

この子供達的能力（=らしさ）が、将来は自分の武器になり、社会にとっても、大切な力になると信じ、その一助を担います。

5. 営業時間

日曜、年末年始、GWの一部を除く、10:00～18:00

6. 送迎実施の有無

有り（厚木市と愛川町に限る）

7. 家族支援の内容

①写真付きの連絡帳を毎日送付

②月に一度の面談機会の提供

8. 移行支援の内容

近隣の関係機関との情報交換に努めています。将来的には、就労B型等の施設への見学・連携等も模索します。

9. 地域支援・地域連携の内容

職業体験やボランティアの受け入れを行い、地域人材の活用や、発達障害への理解の普及につなげます。

10. 職員の質の向上に資する取組

以下の研修・フォローを行っております。

①採用時研修 採用後2ヶ月以内 ②虐待防止研修 10月

③感染症や食中毒の予防・蔓延防止のための訓練 3月・10月

④児童の健康状態の急変や、事故・ケガ発生時の対応訓練 2月

⑤非常災害に対する訓練 年4回

⑥スキルアップ研修（継続研修） 年3回 ⑦スキルアップディスカッション 毎月

11. 主な行事等

初詣、節分、七夕飾り、（長期休業時の）昼食作り、クリスマス会、季節ごとの壁面工作など、季節感を取り入れたプログラムを実施しています。

12.本人支援の内容と5領域の関連性

(1) 全体構成

児童発達支援分野→「個別療育」+「集団療育」を合わせて行っています。

放課後等デイサービス→「学習支援」+「集団療育」を合わせて行っています。

(2) 個別療育について

個別療育については、一人一人に合った内容を毎回考え、それぞれに提供しています。

(3) 学習支援について

主に学校の宿題を用いながら、将来、社会に出る為に「やるべきことをやる」という習慣付けとして、実施しています。宿題が無い場合は、事業所で用意を行います。ご家庭でドリルなどを持たせる事も可能です。

(4) 5領域について

※以下は、事業所の全体感として力を入れている内容で、具体的には、お一人お一人の支援計画書において、5領域とも課題・目標を設定し、支援を行います。

①健康・生活

一人一人にテーマを設定（支援計画に明記）し、それに応じた支援を行います。具体的には、入所時・来所時の動作などで課題を設けています。

②言語・コミュニケーション

自由遊びやプログラムを通じて、「お友達とのコミュニケーション」が広がる事を重視し、橋渡しや支援を行います。最初のステップとしては、スタッフとの気さくなコミュニケーションから始めます。

③認知・行動

行動の切り替えなどについて、厚めに支援を行います。1日のスケジュールを毎回明記し、切り替えの予告を多めに行います。ご本人が予定感を持って活動し、集団のリズムを意識しながら行動できる範囲を広げていきます。

④人間関係・社会性

集団プログラムでは、週に1度ほど「ゲーム大会」を設け、みんなで楽しみます。ルールやポイントを事前に分かりやすく伝え、それに則り「みなで、共通のルールで楽しむ」という経験値を重ねます。

⑤運動・感覚

個別療育内や、集団プログラムで週に1度ほど「工作」を設け、製作体験を重ねます。見本を分かりやすく提示するとともに、作業内容は「一人一人のレベル」に応じて設定し、成功体験で終わるように工夫します。

※「ゲーム大会」「工作」の他、公園遊び・おやつ作りをそれぞれ週に1度ほど開催しています。それ以外には、映画鑑賞・ヒーリング・音楽遊び・実験、などを集団プログラムとして取り入れています。